

評価委員会総合評価

研究課題名：地殻変動観測による火山活動評価・予測の高度化に関する研究

評価委員

委員長：古川信雄

委員：小泉尚嗣、田中正之、渡辺秀文、泊 次郎

評価年月日：平成 25 年 9 月 25 日

1. 総合評価

- (1) 実施の可否 可 否
(2) 修正の必要の有無 修正の必要あり 修正の必要なし

2. 総合所見

火山活動評価・予測については、社会的要請が高く、科学的意義も極めて大きいですが、本研究は、近年、噴火等の異常現象が観測されていない火山も監視対象にしたものである。

本研究は、前中期研究計画を再構成した上で、地殻変動観測データ等のモニタリング手法の高度化、地殻変動源のモデル化及び地殻変動シミュレーションによるマグマの蓄積・挙動の推定手法の高度化により、火山活動の異常を的確に検出・評価するとともに、火山における地震活動と地殻変動の過去事例の整理・解析を通して火山活動の推移のモデル化を類型別に行うことを目指している。

また、伊豆大島における多種目地殻変動観測データ（GPS、傾斜計、歪計）の活用により、マグマ供給系や噴火準備過程について新たな知見が得られる可能性が高い。さらに、噴火に至る地震活動や地殻変動の多様性と共通性を過去事例等で整理・解析することにより、噴火観測未経験火山の噴火シナリオ作成の指針を得ることが期待される。

本研究で得られた成果が、気象庁の噴火予警報業務に反映されることを期待するとともに、研究の実施にあたっては、マグマの蓄積・移動を仮定し、その際にどのような地殻変動が現れるのかといったアプローチも検討して欲しい。